

ワンタッチ ベリオビュー[®]

自己検査用グルコース測定器



取扱 説明書

ワンタッチ ベリオビュー[®]

自己検査用グルコース測定器

取扱説明書

ワンタッチベリオビュー®自己検査用グルコース測定器をお選びいただきまして、ありがとうございます。

特定保守管理医療機器

血糖自己測定器（自己検査用グルコース測定器）は特定保守管理医療機器です。特定保守管理医療機器とは、適正な管理が行われなければ重大な影響がでる恐れがあるものと法に定められています。

医療機関には、特定保守管理医療機器の保守点検に関する計画の策定やその実施が義務付けられています。ご使用にあたっては、医療機関の指導に基づき、日常点検など適正な使用をお願いします。


この取扱説明書には測定器の使用方法和測定に必要な製品の説明、血糖測定方法、ならびに注意事項が記載されています。この取扱説明書は、大切に保管しておいてください。


ワンタッチベリオビュー®は、ソフトウェアアプリケーションで動作する各種ワイヤレス機器に接続（同期）するように設計されています。測定値とその他の記録データは、互換性のあるデバイスにBLUETOOTH®（ワイヤレス）またはUSBケーブルのいずれかを介して送信されます。


記号およびマーク

 『電池残量が少なくなりました。』

 『電池残量がなくなりました。』

 (測定値が) 目標範囲より高い

 (測定値が) 目標の範囲内

 (測定値が) 目標範囲より低い

 午前


 午後

 夕方から夜

 深夜から早朝

 音 『入』

 音 『切』

 コントロールテストの結果

 『食前』

 『食後』

 BLUETOOTH® 機能

 同期

その他の記号およびマーク

△ 警告および注意。
取扱説明書および電子添文の安全に関する箇所を参照してください。

=== 直流

ご使用になる前に

本製品で血糖値を測定する前に、本製品の取扱説明書・電子添文、ならびにワンタッチベリオ®センサーおよびワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の電子添文または取扱説明書をお読みください。

本製品の使用目的

ワンタッチベリオビュー®自己検査用グルコース測定器は、指先の新鮮な毛細血管全血中のグルコース濃度(血糖)を定量的に測定する目的に用います。

医療従事者は静脈全血を検体として使用することも可能です。

本製品は糖尿病の方が自宅で、または医療従事者が医療機関で使用し、糖尿病管理の有効性をモニターする補助として使用する体外診断用のものです。

本製品は糖尿病の診断やスクリーニングに使用しないでください。本製品は新生児には使用できません。

本測定器及びセンサーの電子添文に記載されている操作上の注意、測定器の電子添文に記載されている使用上の注意もあわせて参照してください。

測定原理

血液中のグルコースがセンサーの試薬部分にある酵素FAD-GDHと反応すると、微量の電流が発生します。測定器はこの電流の量を測定することで、血糖値を算出し、その測定結果を表示します。また、この測定結果は測定器のメモリーに記録されます。

BLUETOOTH®ワイヤレス技術

BLUETOOTH®ワイヤレス技術は、一部のスマートフォンや数多くのその他のデバイスで使用されています。お使いのワンタッチベリオビュー®測定器は、BLUETOOTH®ワイヤレス技術を使用して互換性のあるワイヤレス機器と接続し、血糖値データを送信します。

ワンタッチベリオビュー®は、OneTouch Reveal®モバイルアプリ及びその他の糖尿病関連アプリケーションと動作するように設計されています。

注: OneTouch Reveal®モバイルアプリを含むアプリケーションがご利用いただけます。使用可能なアプリケーションに関しては www.OneTouch.jp でご確認ください。

www.OneTouch.jp で、お使いのワンタッチベリオビュー®測定器に互換性のあるワイヤレス機器に関する情報、およびソフトウェアをダウンロードできる場所とその方法についてご確認ください。

ワンタッチベリオビュー®システムをご使用の際は、あなたのワンタッチベリオビュー®測定器と互換性のあるワイヤレス機器を接続し、あなたの測定結果を確認してみませんか。ペアリングの方法は、71ページをご覧ください。

お使いの測定器は、適用される世界中の電波に関する規制とガイドラインの対象となり、それに準拠します。一般に、これらの規則により、機器の操作には2つの条件が規定されています：

1. この機器が有害な干渉を引き起こさないこと。
2. この機器が、望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れること。

これらのガイドライン等は、近くにある他の電子機器の動作に測定器が影響を与えないようにするのに役立ちます。また、他の電子機器がお使いの測定器の使用に影響を与えるべきではありません。

測定器で干渉の問題が発生した場合は、測定器を干渉源から離してください。電子機器またはそのアンテナを別の場所に移動させると問題が解決することもあります。

△ 注意：病院、診療所、航空機内など携帯電話の使用が許可されていない場所ではBLUETOOTH®機能を切にしてください。詳細情報は、66ページをご覧ください

他の人があなたの血糖測定器の設定を変更したり、物理的にあなたの血糖測定器に接続することができる可能性があるため、測定器を公共の場に放置したりしないようにしてください。

測定器は悪意を持って他の人が設定を変更することがないように設計されており、それに応じた試験が行われています。

BLUETOOTH® 商標

BLUETOOTH®のワードマーク、およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LifeScan Scotland Ltd.によるこのマークの任意の使用は、ライセンスの下に行われています。その他商標および商号は各所有者が所有しています。

目次

1	測定器の概要	16
	ワンタッチベリオビュー®	
	自己検査用グルコース測定器の概要.....	16
	ワンタッチベリオ®センサーの概要.....	17
	測定器の電源の入れ方.....	18
	画面のバックライトを使用する.....	19
	測定器の電源を切る.....	19
2	測定する	20
	血糖測定.....	20
	コントロールテストの実施.....	39
3	血糖測定結果に食事マークをつける	50
	血糖測定結果に食事マークをつける.....	50
	食事マークをつける.....	51
4	『7日間のふりかえり』または 『30日間のふりかえり』を見る	54
	ふりかえり情報を見る.....	54
5	過去の測定記録、平均値、 ふりかえり情報を見る	58
	過去の記録をふりかえる.....	58
	『過去の測定記録』を見る.....	59
	『最近のわたし』を見る.....	60
6	測定器の同期	66
	測定結果のアプリへの送信.....	73

7	測定器の設定変更	76
	日付と時刻の変更.....	79
	言語の変更.....	83
	機能設定を変更する.....	84
	測定器のシリアル番号および ソフトウェアバージョンの確認.....	105
8	測定器の保管とお手入れ	108
	測定器の保管.....	108
	測定器のお手入れ.....	109
	電池の交換.....	110
9	測定器のトラブルシューティング	114
	エラーおよびその他のメッセージ.....	114
10	測定器の精度を確認する	124
	測定器の測定結果と検査室の測定結果の 比較.....	124
	測定器の測定結果と検査室の測定結果を 正しく比較するためのご注意.....	125
11	仕様・保証	128
	仕様.....	128
	保証.....	130
	電気および安全規格.....	130
	保証書.....	132
12	索引	134

禁止事項

本製品を糖尿病の診断に使用しないでください。
本製品は糖尿病の診断用ではありません。

測定結果により糖尿病治療を中断・変更しないでください。糖尿病の診断は医師が臨床的な症状や他の検査結果とあわせ、総合的に判断してください。本製品は血糖管理の有効性をモニタリングする補助として使用してください。

糖尿病治療や血糖測定は必ず医師の指導と管理のもとで行ってください。測定結果により、自己判断で糖尿病治療を中断したり変更したりしないでください。

本製品を新生児の血糖測定に使用しないでください。新生児は本品の動作保証範囲外のヘマトクリット値を示す場合があります、適正な測定値が得られない可能性があります。

△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。不適切な測定単位のまま使用すると、血糖値の解釈を誤り、不適切な治療に結びつくおそれがあります。

△警告

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]

- キシロース吸収試験を実施中の患者

△警告

プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者では、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるため、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手してください。

[プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]

△注意

本製品は注意してお取扱いください。測定器を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

ワンタッチベリオビュー®
自己検査用グルコース測定器

箱に含まれるもの:



ワンタッチベリオビュー®
測定器(ブルーまたはピンク
の測定器)(単4電池2本含む)



キャリングケース

注:

- 欠品や不良品などがある場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。
- 電池ボックスのカバーを紛失した場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

別途必要なもの：

これらは別途入手できます。同梱品のリストについては測定器の箱をご覧ください。



ワンタッチベリオ®
センサー専用
コントロール溶液



ワンタッチベリオ®
センサー

ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液およびワンタッチベリオ®センサーは別途入手できます。センサーおよびコントロール溶液の入手方法については、医療従事者にお問い合わせください。

△警告

測定器と関連品はお子様の手の届かないところに保管してください。電池ボックスのカバー、電池、センサー、ランセット（針）、ランセットの保護キャップ、コントロール溶液の容器のキャップなど、小さな部品は喉をつまらせ、窒息させる危険があります。これらの部品を口に入れたり飲みこんだりしないでください。

1

測定器の概要

ワンタッチベリオビュー®
自己検査用グルコース測定器の概要
測定器

センサー挿入口

センサーを差し込むと、
測定器の電源が入ります。

センサー排出ボタン

センサーを測定器から
取り出します。

画面

血糖値指標

データポート

専用のデータ管理システムに
接続するとき 사용합니다。
詳細についてはコールセンターに
お問い合わせください。



電池残量低下マーク

電池の残量が
少なくなったときだけ
表示されます。

測定単位はあらかじめ
mg/dLに設定されており
変更できません。

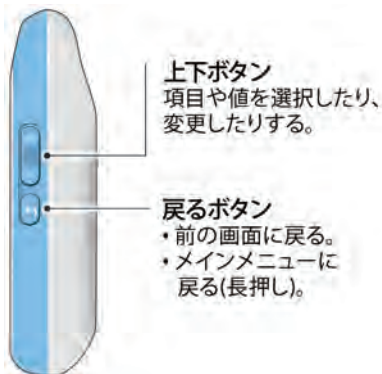
OKボタン

- ・測定器の電源の入/切を
行います(長押し)。
- ・メニューの選択を
決定します。

△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認して
ください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで
表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチ
コールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)
までご連絡ください。

測定器




ワンタッチベリオ®センサーの概要


センサー



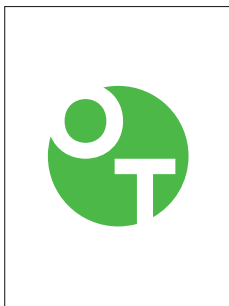
1 測定器の概要

測定器の電源を入れる

 を長押しすると、スタート画面が表示されます。

スタート画面が表示された後、 を離します。

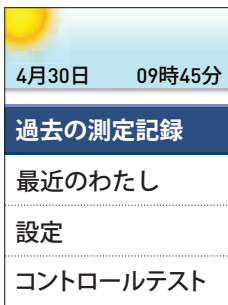
次に画面にメインメニューが表示されます。



スタート画面

または、

センサーを挿入すると測定器の電源が入り、測定することができます(27ページを参照してください)。



メインメニュー

△警告

画面に表示される最初の画面がスタート画面と同じであるか確認してください。適切なスタート画面が表示されない場合、測定器に問題がある可能性があります。

画面のバックライトを使用する

測定器の電源を入れると自動的にバックライトが点灯します。しばらく使用しない場合は、バックライトは薄暗くなります。その場合は、いずれかのボタンを押すとバックライトが再度点灯します。

もしくは、センサーを挿入するとバックライトが再度点灯し、『血液をつけてください』という画面が表示されます。

測定器の電源を切る

測定器の電源を切るには2つの方法があります。

- 電源が切れるまで  を数秒間長押しします。

または、

- 測定器を2分間使用しないときは電源が自動的に切れます。

2 測定する

血糖測定

測定の準備

注: 血糖測定が初めての方には、事前にコントロールテストでの測定練習を行うことをお勧めします。コントロール溶液を使った測定方法については41ページの「コントロールテストの実施」を参照してください。

測定時に準備するもの:

ワンタッチベリオビュー® 測定器

ワンタッチベリオ® センサー

穿刺器具

滅菌済ランセット(針)

注:

- 本製品専用のセンサー(ワンタッチベリオ® センサー)を必ず使用してください。
- 本製品はコード番号の設定は必要ありません。
- 測定は6~44°Cの動作温度範囲内で行ってください。
- 測定器とセンサーがそれぞれ異なる温度環境下で保管されていた場合、測定器とセンサーの両方を室温に置いて、しばらくたってから測定を行ってください。

- 30℃以下の高温多湿を避けた場所で保管してください。
- 測定器が結露した場合は測定をしないでください。測定器とセンサーを高温多湿を避けた場所に移し、測定器の表面を乾燥させてから測定してください。
- センサーを取り出し測定する準備ができるまで、センサーの容器を開けないでください。容器から取り出したセンサーはただちに使用してください。
- センサーの汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちにセンサー容器のキャップをしっかりと締めてください。
- 未使用のセンサーは開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。
- 測定後、使用済みのセンサーを容器に戻さないでください。
- 血液やコントロール溶液、またはその他の汚染物が付着したセンサーを再使用しないでください。センサーは1回限り使用可能です。
- 清潔で乾燥した手でセンサーを容器から取り出してください。センサーを曲げたり、切ったり、改造することは一切行わないでください。

2 測定する

- ・ センサーの容器を初めて開封するときは、容器ラベルに処方日(容器の開封日に6ヶ月を足した日付)を記入してください。
- ・ 本測定器での測定値を他の測定器での測定値と比較することは推奨していません。測定値は測定器によって異なるため、測定器が正常に動作しているかどうかを確認するのに有効な方法ではありません。

△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。

△警告

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。[その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]

- キシロース吸収試験を実施中の患者

△注意

- センサーの容器に損傷がある場合や、容器のキャップが開いたままになっていた場合は、その容器に入っていたセンサーは使用しないでください。このようなセンサーを使用すると、エラーメッセージが表示されたり、測定結果が不正確になるおそれがあります。センサーの容器に損傷があった場合、ただちにワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。
- 測定器やご使用の関連品に問題があって測定を行うことができない場合は、医療従事者またはワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。測定を行うことができないことにより治療の判断が遅れ、深刻な病状を招くおそれがあります。
- センサーの容器には乾燥剤が入っており、これを吸ったり飲み込んだりすると有害です。また皮膚や眼が刺激されるおそれがあります。
- センサーの容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたセンサーを使用すると正確な測定結果が得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは使用しないでください。

2 測定する

注:本製品は指先以外の部位での測定 (Alternate Site Testing: AST) について評価されていません。本製品を使って測定を行う場合は、指先のみを使用してください。

△注意

- 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血をすると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
- 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定してください。
 - 脱水症状
 - ショック状態
 - 末梢循環障害

△注意

感染の危険性を減らすために:

- 測定する前に、穿刺部位を石鹼と温水で丁寧に洗い、よくすすいでから十分に乾かしてください。
- 測定器は常に清潔な状態に保ってください (108ページを参照してください)。

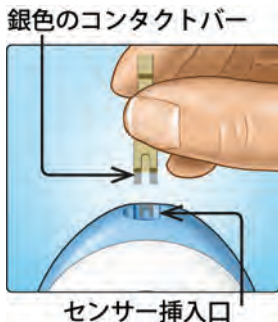
血糖測定の実施

1. センサーを挿入して測定器の電源を入れます

測定器の電源が切れた状態から始めます。

センサーの容器からセンサーを1枚取り出します。

センサーを金色の面が見えるようにつまみ、銀色のコンタクトバーをセンサー挿入口に挿入してください。



容器から取り出したセンサーはただちに使用してください。センサーを汚さないよう、常に正しく取り扱ってください。

本製品ではコード番号を設定する必要はありません。

センサーを曲げないでください。

2 測定する

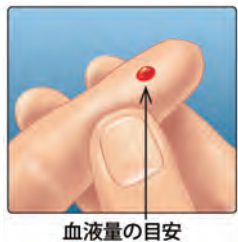
『血液をつけてください』という画面が表示されたら、センサーに血液をつけます。血液をつけるのはセンサーの左右どちら側でも構いません。



2. 血液を出します

血液の出し方については、穿刺器具の電子添文および取扱説明書にしたがってください。穿刺部位については26ページを参照してください。

指先を軽くマッサージし、血液を出します。



広がったり流れ出した血液は使わないでください。その場合は、穿刺部位を拭いてからもう一度血液を軽くしぼり出すか、または別の部位で穿刺をやりなおしてください。



3. 血液をセンサーにつけます

血液をつけるのはセンサーの左右どちら側でも構いません。

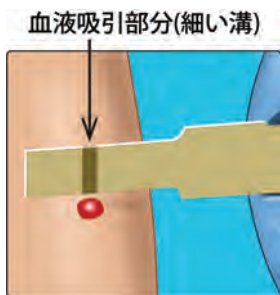
センサーの血液吸引部分(細い溝)に血液をそっとつけます。



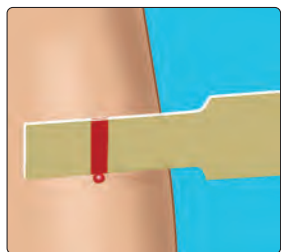
血液は出した直後にセンサーにつけるようにしてください。

2 測定する

測定器を少し傾けて持ち、血液吸引部分(細い溝)を血液に導きます。



血液吸引部分(細い溝)に血液が触れると、血液が吸引されます。

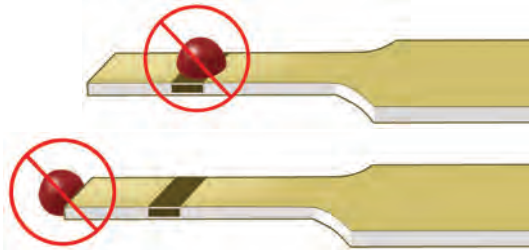


4. 血液吸引部分(細い溝)に血液が完全に吸い込まれるまで待ちます

血液吸引部分(細い溝)の中に血液が吸引されると、血液吸引部分(細い溝)が血液で完全に染まります。

血液吸引部分(細い溝)が血液で染まると、測定器は5から1までのカウントダウンを開始します。

センサーの平らな面または先端には血液をつけないように注意してください。



- センサーに血液をこすりつけたり、すくったりしないでください。
- センサーを穿刺部位に強く押しつけないでください。血液吸引部分(細い溝)が遮られ血液がうまく吸い込まれないおそれがあります。
- 一度血液から離れたセンサーには、血液を二度づけしないでください。

2 測定する

- 測定中（カウントダウン中）は測定器に挿入されたセンサーを動かさないでください。エラーメッセージが表示されたり、電源が切れるおそれがあります。
- 測定結果が表示されるまで、測定器に挿入されたセンサーを取り出さないでください。途中でセンサーを取り出すと、電源が切れてしまいます。

△注意

血液吸引部分（細い溝）が血液で完全に染まっていない場合、エラーメッセージが表示されるか、または測定結果が正しく出ない場合があります。この場合は使用したセンサーは処分し、新しいセンサーを使って再測定してください。

5. 測定結果を確認します

測定単位、測定日時とともに血糖測定結果が画面に表示されます。



△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は、使用を中止し、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。

注:測定結果が表示されるときは必ず日付と時刻が一緒に表示されていることを確認してください。日付または時刻が正しく設定されていない場合は76ページおよび79ページを参照して再設定するか、またはワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

測定結果の代わりにエラーメッセージが画面に表示される場合は126ページを参照してください。

△注意

血糖値を測定しているにもかかわらず、測定結果画面に『**C** コントロール溶液』という文字が表示される場合は、この測定結果は平均値に含まれません。22ページに記載されている血糖測定の手順にしたがって、新しいセンサーで再測定を行ってください。

2 測定する

血糖値指標を確認します

測定後、測定結果の下にカラーの血糖値指標が表示され、測定結果が測定器に設定した目標の範囲内であるか、目標範囲より低いか、目標範囲より高いかをお知らせします。

範囲内

「目標の範囲内」

低

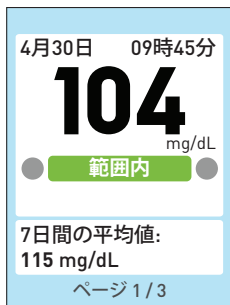
「目標範囲より低い」

高

「目標範囲より高い」

注:測定結果と一緒に、『7日間のふりかえり』、もしくは『30日間のふりかえり』情報を表示することができます。56ページを参照してください。

初期設定では『7日間のふりかえり』情報を表示するように設定されています。56ページを参照してください。



表示例



「目標範囲より高い」
測定結果の表示例

測定結果が『**範囲内**』、『**低**』または『**高**』のどれに当てはまるかを判断するのに、測定器は「全般」および「食事マークあり」の目標範囲を使用します。目標範囲は測定器にあらかじめ設定されていますが、必要に応じて変更することができます。76ページおよび100ページを参照してください。

どちらの目標範囲が測定結果に適用されるかは、食事マーク機能を使用しているかどうかによって変わります（下の表を参照してください）。

目標範囲と測定結果への適用方法

食事マーク機能 『入』/『切』	適用される目標範囲
切	すべての測定結果に「全般」目標範囲が適用されます
入	『 食前 』、『 食後 』または『 食事マークなし 』のマークがついているすべての測定結果に「食事マークあり」目標範囲が適用されます

食事マーク機能の詳細については52ページを参照してください。



2 測定する

禁止事項



カラーの血糖値指標は、測定結果が医師の設定した目標範囲の範囲内であるか、それより高いか、低いかを示します。カラーの血糖値指標に基づいて、自己判断で糖尿病治療を中断したり変更したりしないでください。

目標範囲を変更する場合は、医師にご相談ください（医師の方へ：目標範囲の変更については76ページおよび88ページをご覧ください）。

測定後の手順


- メインメニューに戻るには  を長押しします。
- 食事マーク機能を『入』にしてある場合、この結果に食事マークをつけます（52ページを参照してください）。
- 表示画面モードの設定によっては、あなたの測定結果の『7日間のふりかえり』もしくは『30日間のふりかえり』を閲覧できます（56ページを参照してください）。
- 測定器の電源が切れるまで、 を数秒間長押しします。

2分間何もしなかった場合も、測定器の電源が自動的に切れます。

注:  または  を押したとき、まだセンサーが挿入されたままになっている場合は、『**センサーを廃棄**』という画面が表示され、使用済みのセンサーを廃棄するようお知らせします。



使用済みセンサーを排出・廃棄します

測定結果が出た後、測定器を下に向けて持ちます。センサー排出ボタン  を押すとセンサーが排出されます。使用済みのセンサーは感染性廃棄物とみなされることがあります。廃棄にあたっては必ず医療従事者の指示もしくはお住まいの地区の条例等にしたがってください。



2 測定する

△注意

センサーを排出するときには、血液が飛び散らないよう注意して、廃棄用容器の中に向けてセンサーを排出してください。

予期せぬ測定結果が出た場合

測定結果が予想を上回ったり、下回ったり、予期せぬ測定結果が出る場合、以下の注意を参照してください。

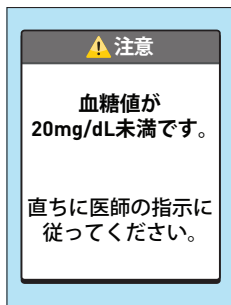
△注意

脱水による測定値の低値表示

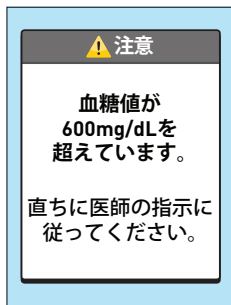
脱水症状が重症のときは、測定結果が実際より低めに表示されるおそれがあります。脱水症状の自覚症状がある場合はただちに医師の指示にしたがってください。

△注意

測定結果が20 mg/dL未満の場合は、測定結果が表示されずに、『**血糖値が20 mg/dL未満です。**』というメッセージが画面に表示されます。ただちに医師の指示にしたがってください。



測定結果が600 mg/dLより高い場合は、『**血糖値が600 mg/dLを超えています。**』というメッセージが表示されます。ただちに医師の指示にしたがってください。



2 測定する

△注意

測定範囲を上回る測定結果の場合、『**血糖値が600 mg/dLを超えています。**』というメッセージが表示されますが、おおよそ1500 mg/dLを上回った場合には、『**エラー5**』のメッセージが表示される可能性があります。このメッセージが表示された場合には、測定器もしくはセンサーの問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判断できませんので注意してください。おおよそ1500 mg/dLを超える高い血糖値が疑われ、『**エラー5**』が表示された時は、ただちに医師の指示にしたがってください。なお、『**エラー5**』が表示された場合は、この測定結果は測定器に保存されません。

△注意

予期せぬ測定結果が繰り返し出る場合

- 予期せぬ測定結果が繰り返し出る場合は、コントロール溶液を使ってコントロールテストを行ってください。41ページを参照してください。
- 本書の記載通りに測定を行っているにもかかわらず、自覚症状と測定結果が合わない場合は、ただちに医師の指示にしたがってください。自覚症状を無視したり、医師に相談なく糖尿病治療を変更しないでください。

動作範囲値外のヘマトクリット値

ヘマトクリット値(血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ)が高い場合(60%を超える)、または低い場合(20%未満)は、正確な測定結果が得られない可能性があります。

コントロールテストの実施

コントロールテスト実施時の注意事項

ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液は測定器とセンサーが適切に機能し、測定が正しく実施されるかテストするために使用します。(コントロール溶液は別途入手してください。)

注:

- ワンタッチベリオビュー®測定器にはワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液をご使用ください。
- コントロール溶液の容器を初めて開封するときには必ず、容器ラベルに処分日を記入してください。処分日の決め方については、コントロール溶液の取扱説明書または容器のラベルを参照してください。
- コントロール溶液の汚染や劣化を防ぐため、使用後はただちに容器のキャップをしっかりと締めてください。

測定に関しては20ページも参照してください。

2 測定する


△注意


- コントロール溶液を飲み込まないでください。
- コントロール溶液は皮膚、眼、耳または鼻を刺激するおそれがあるため、直接触れないでください。
- コントロール溶液の容器に印字されている使用期限または処分日を過ぎたコントロール溶液を使用すると正確な測定結果を得られませんので、使用期限または処分日のいずれかが過ぎたものは使用しないでください。

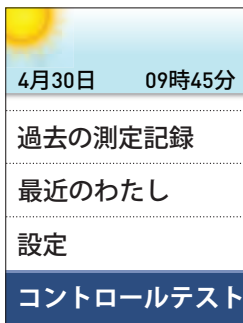
コントロールテストは次の場合に実施します

- 新しいセンサーの容器を開けて使用する時。
- 測定器やセンサーが正しく機能していないと思われる時。
- 予期せぬ測定結果が繰り返し出ると思われる時。
- 測定器を落とすなどして、測定器に衝撃を与えた時。

コントロールテストのために測定器を準備します

1.  を長押しして測定器の電源を入れると、メインメニューが表示されます。

2. メインメニューから『コントロールテスト』を選択し、 を押します。



『センサーを挿入』という画面が表示されるまで待ちます。



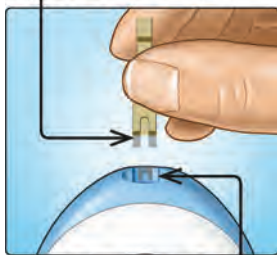
2 測定する

3. センサーを挿入します

センサーの容器からセンサーを1枚取り出します。

センサーを金色の面が表に見えるようにつまみ、銀色のコンタクトバーをセンサー挿入口に挿入してください。

銀色のコンタクトバー



センサー挿入口

容器から取り出したセンサーはただちに使用してください。センサーを汚さないよう、常に正しく取り扱ってください。本製品ではコード番号を設定する必要はありません。

センサーを曲げないでください。

4. 『コントロール溶液をつけてください』という画面が表示されるまで待ちます



コントロール溶液を準備します

1. キャップを外す前に、容器を軽く振ってください。
2. コントロール溶液の容器のキャップを外し、キャップの上部を上に向けて平らな場所に置きます。
3. 最初の1滴目を捨ててください。



2 測定する

4. 容器およびキャップの先端を清潔なティッシュペーパーまたは布できれいに拭いてください。



5. キャップの小さな窪みか、清潔で平らな面に1滴落とします。

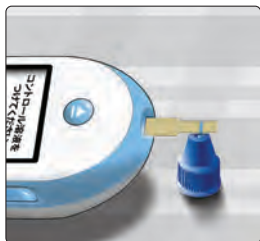


コントロール溶液をセンサーに点着します

1. センサー側面が、コントロール溶液に対してわずかに斜めになるように測定器を持ちます。



2. センサーの側面の血液吸引部分(細い溝)をコントロール溶液に点着させます。



3. 血液吸引部分(細い溝)が溶液で完全に染まったのを確認してください。

点着の方法については29ページを参照してください。

2 測定する

コントロールテストの結果を確認します

測定器が5から1までのカウントダウンを開始します。測定結果の他に日付、時刻、測定単位、そして『**C** コントロール溶液』という文字が表示されます。

『コントロールテスト』が選択されたため、測定器は測定結果をコントロールテスト結果として記録します。

コントロールテストの結果は過去の測定記録を閲覧するときに見ることができますが、測定結果の平均値には含まれません。



△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。

△注意

コントロールテストを実施する前に、必ずメインメニューから『コントロールテスト』を選択してください。画面に『**C** コントロール溶液』という文字が表示されない場合、この結果は測定結果の平均値に組み入れられ、平均値も変化します。41ページに記載されているコントロールテストの手順にしたがって、新しいセンサーで再度測定を行ってください。

コントロールテストの結果が許容範囲にあるか確認します

測定器に表示された結果を、ワンタッチベリオ®センサー専用コントロール溶液の容器に印字された許容範囲と比較します。



許容範囲の例
ワンタッチベリオ®センサー
専用コントロール溶液の
許容範囲
102~138 mg/dL

△注意

コントロール溶液の容器ラベルに印字されている許容範囲はコントロール溶液の範囲値です。血糖値の推奨範囲ではありません。

2 測定する

許容範囲外の結果が出る原因：

コントロールテストの結果が許容範囲から外れる原因として、次のいずれかが考えられます。

- コントロールテストの操作手順を間違えた。
- コントロール溶液が汚染されている、または使用期限もしくは処分日を過ぎている。
- センサーまたはセンサーの容器が損傷している、または使用期限もしくは処分日を過ぎている。
- コントロールテストを実施した際、測定器、センサー、コントロール溶液の温度が同じでなかった。
- 測定器が故障している。
- コントロール溶液のキャップの先端の小さな窪みに汚れがある、または汚染されている。

△注意

コントロールテストの結果が、再びコントロール溶液の容器ラベルに印字されている許容範囲から外れる場合は、お使いの測定器、センサー、およびコントロール溶液の使用を中止して、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

コントロール溶液のキャップのお手入れ

コントロール溶液のキャップの先端を清潔なティッシュペーパーまたは布できれいに拭いてください。

血糖測定結果に食事マークをつける

血糖測定結果に食事マークをつける

ワンタッチベリオビュー®測定器では、現在の血糖測定結果に『食前(🍏)』または『食後(🍷)』マークをつけることができます。

食事マークをつけるには、食事マーク機能を『入』にする必要があります(88ページおよび97ページを参照してください)。初期設定では食事マーク機能は『切』に設定されています。

- 『食前』血糖測定は、食事を開始する直前に行います。
- 『食後』血糖測定は一般に、食事開始から1～2時間後に行います。
- 『食前』『食後』以外の時間帯の測定結果には、『食前』もしくは『食事マークなし』のいずれかのマークをつけることができます。

食前と食後の測定値に食事マークをつけると、『食前』と『食後』の平均値を表示することができます。56ページと65ページを参照してください。

食事マークの設定に関しては、医師にお尋ねください。

血糖測定結果に食事マークをつけるときは注意してください。誤った食事マークをつけると、平均値として表示される情報が不正確になったり、誤って解釈したりするおそれがあります。

食事マークをつける

測定後、画面に測定結果が表示されると、結果の下に食事マークの選択画面が表示されます。

1. **↑** または **↓** を押して『食前』または『食後』を選択し、**OK** を押します。



2. 測定結果に食事マークをつけたくない場合は、『食事マークなし』を選択するか、**↶** を押します。食事マークをつけなかった測定結果は、自動的に『食事マークなし』として記録されます。

測定結果画面に表示された食事マークを変更する場合は、**↶** を押し、食事マークの選択画面に戻ってください。




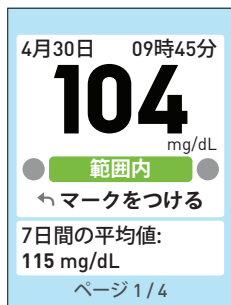
食事マークはここに表示されます

『食前』マークの例

3 血糖測定結果に食事マークをつける

注:測定結果画面を終了すると、測定値は『過去の測定記録』(61ページを参照してください)に記録され、それ以降は、測定結果につけた食事マークを変更することができなくなります。

注:測定後に  を押すと、画面に『マークをつける』というメッセージが表示され、食事マークをつけるようお知らせします。



白紙ページ

『7日間のふりかえり』または『30日間のふりかえり』を見る

ふりかえり情報を見る

『表示画面モード』を『アドバンス - 7日間』または『アドバンス - 30日間』（88ページを参照してください）に設定した場合、毎回の血糖測定後に、測定結果のふりかえり画面を見ることができます。この画面は、測定結果が表示された直後（食事マーク機能が『切』の場合）、または測定結果に食事マークをつけた後（食事マーク機能が『入』の場合）に見ることができます。


初期設定では『アドバンス - 7日間』に設定されています。

注：『表示画面モード』を『ベーシック』（88ページと96ページを参照してください）に設定した場合、7日間および30日間のふりかえり情報は測定後には表示されません。その場合でも、どちらのふりかえり情報も『最近のわたし』画面から見ることができます。62ページを参照してください。

ふりかえり画面には、選択したアドバンスモードの種類に応じて、直近の7日間または30日間の情報が表示されます。

『7日間のふりかえり』または『30日間のふりかえり』を見る 4

まず右の『7日間のふりかえり』の例(食事マーク機能が『入』の場合)では、測定結果に『食前』マークがついており、画面1の下部に『7日間の平均値』が表示されています。

を押すと、残りの3つの画面を順に見ることができます。



画面1
『7日間の平均値』
表示例

右の画面2には『食前』と『食後』の平均値、および各平均値に含まれる測定結果の件数が表示されます。

注:この画面は『食事マーク機能』を『入』にしているときにしか表示されません。また、平均値・測定結果の件数に含まれるのは『食前』または『食後』というマークがつけられた測定結果のみです。



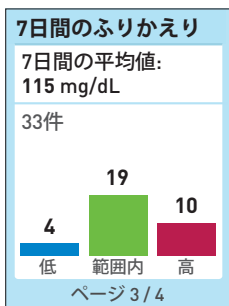
画面2

4 『7日間のふりかえり』または『30日間のふりかえり』を見る

右の画面3には『7日間の平均値』と、平均値に含まれる総測定件数が表示されます。総測定件数には、『食前』『食後』のマークをつけた測定結果だけでなく、食事マークをつけなかった結果も含まれています。

また『低』『範囲内』『高』の血糖値指標を表示した測定結果がそれぞれ何件あるかを数字と棒グラフで表示します。

右の画面4は、『低』『範囲内』『高』の血糖値指標を表示した測定結果が、一日のどの時間帯にそれぞれ何件あったのかを表示します。「午前」、「午後」、「夕方から夜」、「深夜から早朝」の4つの時間帯があり、この時間帯を変更することはできません。



画面3



画面4

☀️ 午前: 6:00~10:59

☀️ 午後: 11:00~16:59

🌅 夕方から夜: 17:00~23:59

🌙 深夜から早朝: 24:00~5:59

『7日間のふりかえり』または『30日間のふりかえり』を見る **4**

最後の画面を見た後  を押すと、測定結果画面に戻ります。

注:『30日間のふりかえり』画面も『7日間のふりかえり』画面と同様の項目を表示しますが、期間は直近の30日間です。



測定後、電源を切る場合は、36ページを参照してください。

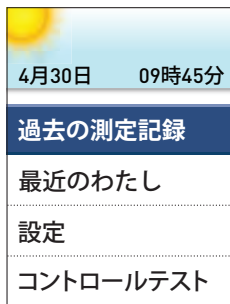
過去の測定記録、平均値、ふりかえり情報を見る


過去の記録をふりかえる

本測定器は過去の血糖測定結果およびコントロールテストの結果を新しいものから順に最大600件を保存します。本測定器は次の通りいくつかの方法で過去の測定記録を表示します。

1. メインメニューを表示する

- 測定器の電源が切れている場合、スタート画面が表示されるまで  を長押ししてください。スタート画面が表示されたら、 を離してください。メインメニューが表示されます。20ページを参照してください。



- 測定が終了した直後の場合、 を長押しし、測定結果画面からメインメニューに戻ります。

- #### 2. メインメニューから または を押して選択し、 を押して選択を確定します。

『過去の測定記録』

以下の情報を見たいときに選択します。

- 測定器に保存されているすべての測定結果の一覧



『最近のわたし』



以下の情報を見たいときに選択します。




- ・ 『平均値』
- ・ 『7日間のふりかえり』
- ・ 『30日間のふりかえり』

『過去の測定記録』を見る

測定結果の履歴は、直近のものから測定が行なわれた順に表示されます。一目で見えるのは最大5件です。

さらに古い測定結果を表示するには  を押し、新しい測定結果を表示させるには  を押します。

 か  を押し続けければ、測定結果の記録表示を素早く切り替えることができます。

個々の測定結果の詳細を見るには  または  を押して測定結果を選択し、次に  を押して選択を確定します。

スクロールバー

過去の測定記録	
	mg/dL
4月30日 火曜日	
09時45分 	104
4月29日 月曜日	
23時45分 	182
4月28日 日曜日	
08時12分 	115
04時30分 	95

5 過去の測定記録、平均値、ふりかえり情報を見る


次の記号が表示されることもあります。

HI 600 mg/dLより高い血糖測定結果 (38ページを参照してください)


LO 20 mg/dL未満の血糖測定結果 (38ページを参照してください)

C コントロールテストの結果 (43ページを参照してください)

 『食前』マークがつけられた血糖測定結果

 『食後』マークがつけられた血糖測定結果

注:『過去の測定記録』画面の一番上に表示されている測定結果を選択すると、あなたの『前回の測定結果』が表示されます。前回の測定結果以外の測定結果はすべて『測定結果の詳細』と表示されます。

前の画面に戻るには、 を押します。




表示例

『最近のわたし』を見る

『最近のわたし』画面では、『平均値』、『7日間のふりかえり』、または『30日間のふりかえり』を選択できます。

平均値

現在の日付から過去7日間、14日間、30日間、90日間それぞれの平均値と測定件数が表示されます。

 を押すと『最近のわたし』画面に戻ります。

平均値	
	mg/dL
7日間 33件	115
14日間 73件	160
30日間 132件	191
90日間 600件	130

注: 平均値の計算期間内に1つ以上の血糖測定結果がある場合にしか平均値は計算されません。

過去7日、14日、30日、90日間に測定結果がない場合、測定件数は『0件』と表示され、平均値の表示欄にはダッシュ記号(---)が表示されます。

測定結果の平均値を計算するとき、『血糖値が600 mg/dLを超えています。』と表示された測定結果は600 mg/dLとして、『血糖値が20 mg/dL未満です。』と表示された測定結果は20 mg/dLとして平均値に含まれます。(測定範囲外の血糖測定結果についての詳細は38ページを参照してください。)

5 過去の測定記録、平均値、ふりかえり情報を見る

注:測定器は現在の日付の設定から過去7日間、14日間、30日間、および90日間の平均値を計算します。日付設定を変更すると、平均値も変化することがあります。

測定結果の平均値は、過去の測定結果をもとに算出されます。測定結果の平均値をそのまま糖尿病治療の判断に使用しないでください。医師に相談なく糖尿病治療を変更しないでください。

△注意

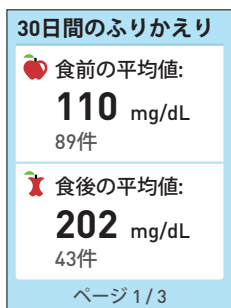
平均値を使用する場合は、測定器を他人に使用させないでください。

『7日間のふりかえり』および『30日間のふりかえり』

『最近のわたし』画面で7日間・30日間のどちらを選択したかに応じて、ふりかえり画面は過去7日間または30日間の情報を表示します。


『表示画面モード』を『ベーシック』（88ページを参照してください）に設定した場合でも、『最近のわたし』画面から7日間・30日間両方のふりかえり情報を見ることが可能です。

右の『30日間のふりかえり』（食事マーク機能が『入』の場合）の例では、画面1は『食前』および『食後』の平均値と測定件数を表示しています。



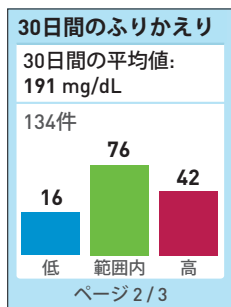
画面1

注:この画面は食事マーク機能が『入』になっている時しか表示されません。また、平均値・測定件数に含まれるのは『食前』または『食後』マークがつけられた測定結果のみです。

残りの2つの画面を見るには  を押しします。

5 過去の測定記録、平均値、ふりかえり情報を見る

右の画面2には『30日間の平均値』と、総測定件数が表示されます。総測定件数には、『食前』『食後』マークをつけた測定結果だけでなく、食事マークをつけなかった測定結果も含まれています。また『低』『範囲内』『高』の血糖値指標を表示した測定結果がそれぞれ何件あるかを数字と棒グラフで表示します。



画面2


右の画面3は、『低』『範囲内』『高』の血糖値指標を表示した測定結果が、一日のどの時間帯にそれぞれ何件あったのかを表示します。「午前」、「午後」、「夕方から夜」、「深夜から早朝」の4つの時間帯があり、この時間帯を変更することはできません。

30日間のふりかえり			
測定結果の件数			
	低	範囲内	高
☀️	10	10	4
☀️	1	6	32
🌅	2	48	4
🌙	3	12	2
ページ 3 / 3			

画面3

- ☀️ 午前: 6:00～10:59
- ☀️ 午後: 11:00～16:59
- 🌅 夕方から夜: 17:00～23:59
- 🌙 深夜から早朝: 24:00～5:59

過去の測定記録、平均値、ふりかえり情報を見る **5**



最後の画面を見た後に  を押すと、『最近のわたし』画面に戻ります。

注:『7日間のふりかえり』画面も『30日間のふりかえり』画面と同様の項目を表示しますが、期間は直近の7日間です。




6 測定器の同期

互換性のあるワイヤレス機器への接続

BLUETOOTH®機能の入/切切り替え

測定器と互換性のあるワイヤレス機器を接続するには、BLUETOOTH®機能を入にする必要があります。BLUETOOTH®機能を入にすると、記号  が測定器画面に現れます。画面に記号  が現れない場合は、BLUETOOTH®機能が切になっています。

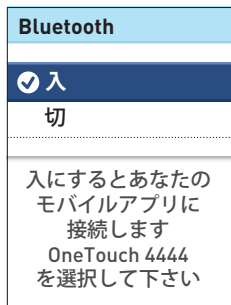
1.  ボタンを長押しし、測定器を立ち上げます

メインメニューが表示されるのを待ち、そして  または  を押して『設定』を選択して、 を押します。

2. 設定メニューで、『Bluetooth』を選択して  を押します

設定
日付・時刻
言語
機能設定
音
Bluetooth
測定器情報

✓ は、BLUETOOTH®が現在入または切に設定されているかを示します。



3. ▲ または ▼ を押して、『入』または『切』を選択して  を押します。

注：BLUETOOTH®機能は、血糖測定中は切になります。

6 測定器の同期

ペアリングの概要

ペアリングによって、お使いのワンタッチベリオビュー®測定器と互換性のあるワイヤレス機器との通信が可能になります。ペアリングと同期を可能にするには、両機器を8メートル以内に近づけます。OneTouch Reveal®モバイルアプリをApp StoreまたはGoogle Playでダウンロードした後、測定器と互換性のあるワイヤレス機器とをペアリングします。

AppleとAppleのロゴは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。App Storeは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.のサービスマークです。

Google PlayおよびGoogle Playのロゴは、Google LLCの商標です。



注: OneTouch Reveal®モバイルアプリを含むアプリケーションがご利用いただけます。使用可能なアプリケーションに関してはwww.OneTouch.jpでご確認いただけます。

複数のワンタッチベリオビュー®をお使いの互換性のあるワイヤレス機器とペアリングすることができます。例えば、お使いの互換性のあるワイヤレス機器を、ご自宅の測定器とお勤め先の別の測定器にペアリングすることが可能です。複数の測定値をペアリングするには、各測定器のペアリングの方法を繰り返し実行します。ペアリングの方法は、71ページをご覧ください。

測定結果のコンピュータへのダウンロード

お使いの測定器は、血糖値に影響を及ぼす主要因を視覚的に追跡する糖尿病管理ソフトウェア等とともに動作させることが可能です。ご利用いただける糖尿病管理ツールについての詳細情報は、ワンタッチコールセンターにお問い合わせください。ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付) OneTouch.jp

6 測定器の同期

測定器のデータを転送するには、糖尿病管理ソフトウェア等に付属する説明書に従って、測定器から測定結果をダウンロードします。ワンタッチベリオビュー®をコンピュータに接続して測定結果をダウンロードするには、標準的なマイクロUSBインターフェースケーブルが必要です (付属していません)。

ダウンロードを開始するコマンドがコンピュータから測定器に送信されると、『PCと接続中です。』画面が現れ、測定器が通信モードであることが表示されます。

測定器がコンピュータに接続されている間は、センサーを挿入しないでください。

測定結果をコンピュータにダウンロードできない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。

お使いのワンタッチベリオビュー®は、複数の互換性のあるワイヤレス機器とペアリングすることができます。複数の互換性のあるワイヤレス機器とペアリングするには、各ワイヤレス機器のペアリングの方法を繰り返します。



ペアリングの方法

測定器をアプリとペアリングするには、
BLUETOOTH®機能を入にする必要があります。
66ページを参照してください。

1. OneTouch Reveal®モバイルアプリを起動し、
手順通りに測定器とお使いの互換性のあるワイヤレス
機器とペアリングしてください

2. 互換性のあるワイヤレス機器の画面上で、「OneTouch」と測定器のシリアル番号の下4桁を探し、測定器を正しく識別します

測定器の画面に、互換性のあるワイヤレス機器上で検索されるペアリング情報が表示されます。



例

6 測定器の同期


3. OneTouch Reveal®モバイルアプリの準備ができたなら、測定器に6桁のBluetoothキーが表示されます



Bluetoothキーの例


キーパッドを使って、Bluetoothキーをお使いの互換性のあるワイヤレス機器に入力してください。

⚠注意:

互換性のあるワイヤレス機器に入力するBluetoothキーが、測定器の画面上のBluetoothキーと一致することをご確認ください。Bluetoothキーが、お使いの測定器の画面上に予期せず表示された場合、測定用のセンサーを挿入するか、 ボタンを押して、Bluetoothキーの請求をキャンセルしてください。

4. 互換性のあるワイヤレス機器が、測定器とペアリングされたことを表示するのを待ちます

測定結果のアプリへの送信

測定器のBLUETOOTH®機能が入になっている場合、BLUETOOTH®の記号  が表示され、測定器はペアリングされた互換性のあるワイヤレス機器に自動で測定結果を送信します。

同期の記号 (🔄) が測定器の画面上で点滅します。同期が終わると同期の記号は消え、アプリは測定器から送信された新しい測定結果のリストを表示します。その測定結果は、あなたの介護者や医師と共有することができます。

注意:


緊急的な対処が必要な場合には、直近の測定結果を用いて、必ず医師の指示に基づき行ってください。

注: 測定結果を送信する前に、互換性のあるワイヤレス機器でアプリを起動し、測定器とのペアリングを済ませておく必要があります。68ページを参照してください。

6 測定器の同期

注: 測定器のBLUETOOTH®機能が切になっている場合、または測定器がネットワーク圏外にある場合、測定結果は互換性のあるワイヤレス機器に送信されません。測定結果は、現在の日付と時刻とともに測定器のメモリに保存され、次の同期の際にアプリに送信されます。また、送信される測定結果は測定器にも保存されます。同期するには、お使いの互換性のあるワイヤレス機器上でアプリを起動し実行する必要があります。

血糖測定結果がアプリに送信されたかどうかを確認するには、BLUETOOTH®機能を入にして、以下を確認してください:

- 互換性のあるワイヤレス機器と測定器両方が入になり、アプリが起動している。
- 測定器が互換性のあるワイヤレス機器と正しくペアリングされている。
- 両機器上でBLUETOOTH®機能が動作しており（により表示 、各機器間の距離が8メートル以内。
- 測定器は、切になっている場合でも、測定後4時間まで測定結果の転送を試みます。

それでも測定結果を互換性のあるワイヤレス機器に送信できない場合は、一度ペアリングを解除し、測定器と互換性のあるワイヤレス機器をより近づけるか、干渉源と思われる場所から移動させて機器を再ペアリングします。それでも問題が解消しない場合は、ワンタッチコールセンターにご連絡ください。ワンタッチコールセンターの連絡先情報は、この取扱説明書の最後に記載されています。アプリに関する問題は、ワンタッチコールセンターにお問い合わせください。

注：




- 転送中にセンサーを挿入すると、すべての測定結果の転送がキャンセルされます。『血液をつけてください』画面が表示されたら、測定を開始できます。
- 不正確な測定結果が互換性のあるワイヤレス機器に送信されないように注意してください。

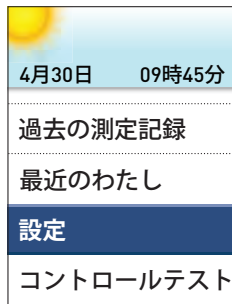
測定器の設定変更

測定器の設定はいつでも変更することができます。測定器を初めて使用するときや、測定器の電池を交換したときには、測定器の言語、時刻、日付が正しいか確認してください。これにより、各測定結果を正しい日付と時刻で記録することができます。

目標範囲などその他の設定も、正しく設定されているか時々確認してください。




測定器の電源を入れると、スタート画面の後にメインメニューが表示されます。青く反転している項目が、測定器の画面上で現在選択されている項目を示しています。

1. メインメニュー画面で  または  を押して『設定』を選択し、 を押して選択を確定します。



『設定』画面が表示されます。



2.  または  を押して変更したい設定項目を選び、 を押して選択を確定します。

- 『日付・時刻』
- 『言語』

7 測定器の設定変更

- 『機能設定』
- 『音』 103ページを参照してください。
- 『Bluetooth』 66ページを参照してください。
- 『測定器情報』 106ページを参照してください。

『機能設定』画面では次のことができます。

- 表示画面モードを変更します。
- 食事マーク機能を『入』または『切』にします。
- 目標範囲を変更します。
- 測定時間アラームを設定します (107ページを参照してください)。

機能設定
表示画面モード: ベーシック
食事マーク機能: 切
目標範囲: 70 ~ 180 mg/dL
測定時間アラーム

△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までご連絡ください。

変更したい設定項目が表示されたとき、画面上の最初の項目が変更できる状態になっています。

▲ または ▼ を押して希望する値に変更し、次に OK を押して先に進みます。選択されている項目を変更する必要がない時は、そのまま OK を押してください。OK を押すたびに、次の項目の選択に移ります。

各設定の変更中に ⏪ を押すと、前の画面に戻って設定しなおすことができます。

⏩ を長押しすると、いつでもメインメニューに戻ることができます。

日付と時刻の変更


1. 『設定』画面で ▲ または ▼ を押して『日付・時刻』を選択し、OK を押します。

2. 『時刻』または『日付』を選択し、OK を押して選択を確定します。

日付・時刻
時刻: 09時45分
日付: 2014年4月30日

7 測定器の設定変更

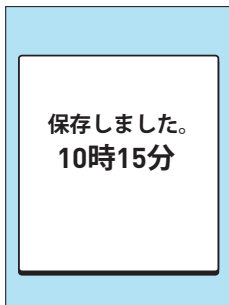
時刻の変更

『時刻』画面で ▲ または ▼ を押して時刻を変更し、
 を押して確定します。


この手順を繰り返して分を設定します。



『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている時刻が測定器に保存されたことをお知らせします。



日付の変更

『日付』画面で ▲ または ▼ を押して西暦年を変更し、
 を押して確定します。

この手順を繰り返して月と日を設定します。

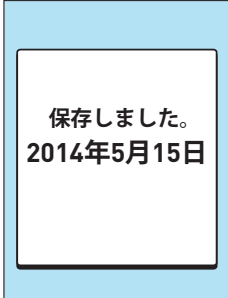


日付

年	月	日
2014	4	30

The image shows a date selection interface. At the top, it says '日付' (Date). Below that, there are three columns labeled '年' (Year), '月' (Month), and '日' (Day). The year '2014' is currently selected and highlighted with a dark blue background and a small downward arrow. The month is '4' and the day is '30'.

『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている日付が測定器に保存されたことのお知らせします。



保存しました。
2014年5月15日





The image shows a confirmation screen with a light blue background. A white box in the center contains the text '保存しました。' (Saved) and '2014年5月15日' (2014年5月15日).

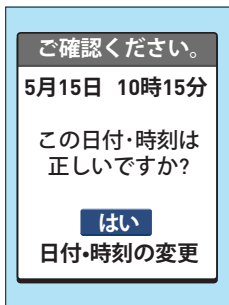
7 測定器の設定変更



日付と時刻の確認

測定器の日付と時刻を常に正確にしておくため、6ヶ月おきに測定器に設定されている日付と時刻の確認を求める画面が表示されます。

表示された日付と時刻を確認します。

- 正しい場合は  を押してください。
- 正しくない場合、 または  を押して『日付・時刻の変更』を選択し、 を押します。






日付と時刻を正しく設定したら  を押して『完了』を選択し、 を押します。

数秒後、画面にはメインメニューが表示されます。この時、センサーが測定器に挿入されている場合は、メインメニューではなく『血液をつけてください』という画面が表示されます。

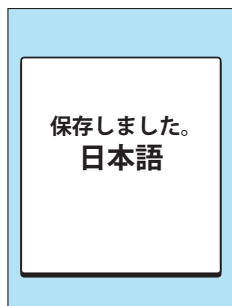


言語の変更

『言語』画面で  または  を押して表示する言語を選択し、 を押して選択を確定します。



『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている言語設定が測定器に保存されたことをお知らせします。



7 測定器の設定変更


機能設定を変更する

表示画面モードの変更

血糖測定後に、測定結果だけを表示するか(ベーシックモード)、測定結果の他に『7日間のふりかえり』または『30日間のふりかえり』を表示することができます(アドバンスモード)。2種類のアドバンスモードについては54ページを参照してください。

『機能設定』画面で

▲ または ▼ を押して

『表示画面モード』を選択し、
 を押して選択を確定
します。

『表示画面モード』画面で

▲ または ▼ を押して選択し、
 を押して保存します。

『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている表示画面モードが測定器に保存されたことをお知らせします。

機能設定

表示画面モード:
アドバンス - 7日間

食事マーク機能:
切

目標範囲:
70 ~ 180 mg/dL

測定時間アラーム

保存しました。
ベーシック

表示例
ベーシックモード

食事マーク機能を『入』にする


食事マーク機能を使うと、測定結果に『食前』または『食後』マークをつけることができます。食事マークをつけるには食事マーク機能を『入』にする必要があります。

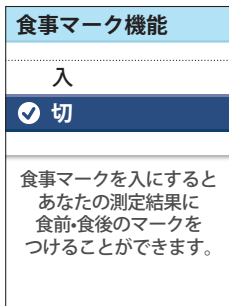
注：食事マーク機能を『入』にした場合、「食事マークあり」目標範囲（『食前の目標範囲』と『食後の目標範囲』）を別途設定する必要があります。「食事マークあり」目標範囲は『食前』、『食後』、および『食事マークなし』というマークがつけられた測定結果に適用されます。

『機能設定』画面で
 ▲ または ▼ を押して
 『食事マーク機能』を選択し、
 OK を押して選択を確定
 します。

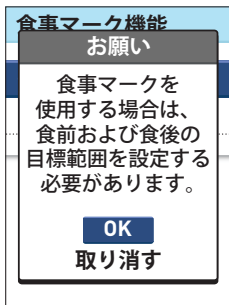
機能設定
表示画面モード: ベーシック
食事マーク機能: 入
目標範囲: 70 ~ 180 mg/dL
測定時間アラーム

7 測定器の設定変更

『食事マーク機能』画面で
↑ または ↓ を押して『入』を
選択し、 を押して保存
します。



『お願い』画面が表示され
ます。

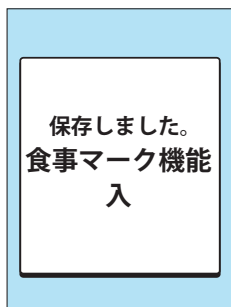


次に、「食事マークあり」目標範囲(『食前の目標範囲』と『食後の目標範囲』)が正しいかどうか確認を求められます。

注:食事マーク機能を『入』にすると、「食事マークあり」目標範囲(『食前の目標範囲』と『食後の目標範囲』)が正しいかどうか確認を求められます。食事マーク機能を『切』にすると、これらの目標範囲は初期設定値に戻ります。

目標範囲を確認した後、『保存しました。』という画面が表示され、食事マーク機能が『入』になります。

「全般」および「食事マークあり」目標範囲の設定方法については100ページと77ページを参照してください。



7 測定器の設定変更

目標範囲の下限値および上限値の設定

測定器は下限値と上限値を使って、測定結果が目標の範囲内であるか、それより高いか低いかを表示します。

測定器にはあらかじめ目標範囲が設定されていますが、これは変更することができます。

「全般」目標範囲：初期設定値の下限は70 mg/dL、上限は180 mg/dLです（101ページを参照してください）。

「食事マークあり」目標範囲（102ページを参照してください）

- 『食前の目標範囲』：初期設定値の下限は70 mg/dL、上限は130 mg/dLです。
- 『食後の目標範囲』：初期設定値の下限は70 mg/dL、上限は180 mg/dLです。

禁止事項

目標範囲を変更する場合は、医師にご相談ください。医師に相談なく糖尿病治療を変更しないでください。

「全般」目標範囲の変更（食事マーク機能が『切』の場合）

食事マーク機能が『切』になっている場合、すべての測定結果に「全般」目標範囲が適用されます。測定器には70 mg/dLという下限値および180 mg/dLという上限値があらかじめ設定されています。

あらかじめ設定されている『下限値』を変更するには、**▲** または **▼** を押して60 mg/dL～110 mg/dLの範囲内の希望の値を選択し、**OK** を押して変更を確定します。

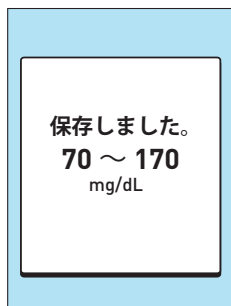
目標範囲	
下限値	
70 ▲ ▼	- 180
mg/dL	

あらかじめ設定されている『上限値』を変更するには、**▲** または **▼** を押して90 mg/dL～300 mg/dLの範囲内の希望の値を選択し、**OK** を押して変更を確定します。

目標範囲	
	上限値
70	- 180 ▲ ▼
	mg/dL

7 測定器の設定変更

『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている下限値および上限値が測定器に保存されたことをお知らせします。




「食事マークあり」目標範囲の変更 (食事マーク機能が『入』の場合)

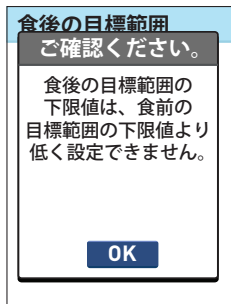
食事マーク機能が『入』になっているときは、『食前』の測定結果に適用される『食前の目標範囲』と、『食後』の測定結果に適用される『食後の目標範囲』をそれぞれ設定する必要があります。『食前の目標範囲』と『食後の目標範囲』は、『食前』、『食後』、『食事マークなし』というマークがついている測定結果に適用されます。

注:『食事マークなし』の測定結果には『食前の目標範囲』の下限値と『食後の目標範囲』の上限値が適用されます。

目標範囲の設定は一定の規則にしたがって行います。


例えば、『食後の目標範囲』の下限值は『食前の目標範囲』の下限值より低く設定することはできません。また『食後の目標範囲』の上限値は『食前の目標範囲』の上限値より低く設定することはできません。『食前の目標範囲』の下限值と上限値にも同様の規則が当てはまります。誤った下限値または上限値を選択すると、画面には別の値を選択するよう、メッセージが表示されます。

『目標範囲』画面で『食前の目標範囲』または『食後の目標範囲』を選択し、を押します。



目標範囲
食前の目標範囲: 70 ~ 130 mg/dL
食後の目標範囲: 70 ~ 180 mg/dL

7 測定器の設定変更


あらかじめ設定されている『食前の目標範囲』の『下限値』を変更するには、**▲**または**▼**を押して60 mg/dL～110 mg/dLの範囲内の値を選択し、を押して変更を確定します。

食前の目標範囲

下限値

70 ▼ – 130

mg/dL

あらかじめ設定されている『食前の目標範囲』の『上限値』を変更するには、**▲**または**▼**を押して90 mg/dL～300 mg/dLの範囲内の値を選択し、を押して変更を確定します。

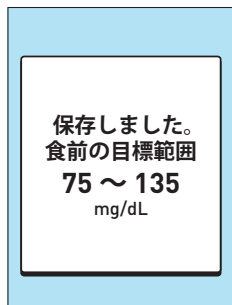
食前の目標範囲

上限値

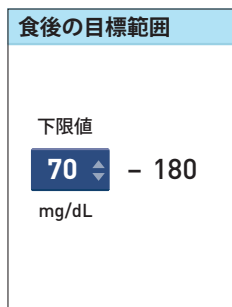
90 – **130** ▼

mg/dL

『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている『食前の目標範囲』が測定器に保存されたことをお知らせします。

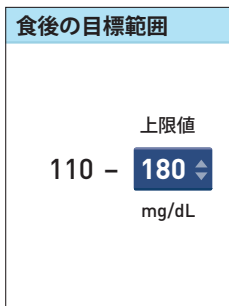


あらかじめ設定されている『食後の目標範囲』の『下限値』を変更するには、**▲** または **▼** を押して 60 mg/dL ~ 110 mg/dL の範囲内の値を選択し、**OK** を押して変更を確定します。

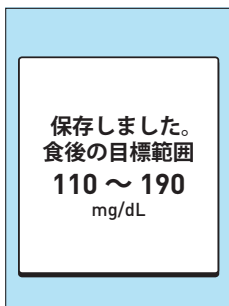


7 測定器の設定変更

あらかじめ設定されている『食後の目標範囲』の『上限値』を変更するには、**▲**または**▼**を押して90 mg/dL～300 mg/dLの範囲内の値を選択し、**OK**を押して変更を確定します。






『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている『食後の目標範囲』が測定器に保存されたことをお知らせします。









測定時間アラームの設定(または変更)

本測定器は血糖測定の実施時間をお知らせする測定時間アラームを設定することができます。測定器には最大3つの測定時間アラームを設定することができ、いつでも変更したり、『入』と『切』を切り替えることができます。それぞれの測定時間アラームについて、測定時間アラームが表示される日付と時刻および繰り返しの頻度を設定できます。

測定時間アラーム
測定時間アラーム1 切
測定時間アラーム2 切
測定時間アラーム3 切

『機能設定』画面で  または  を押して『測定時間アラーム』を選択し、 を押して選択を確定します。

『測定時間アラーム』画面で  または  を押して『測定時間アラーム1』を選択し、 を押して選択を確定します。





『測定時間アラーム1』画面で  または  を押して『入』を選択し、 を押して選択を確定します。

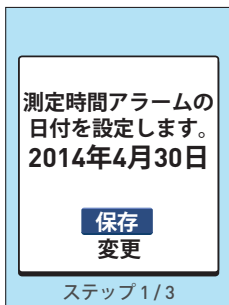
測定時間アラーム1
入
<input checked="" type="radio"/> 切




7 測定器の設定変更

ステップ1:測定時間アラームの日付の変更

表示されている測定時間アラームの日付を確認します。

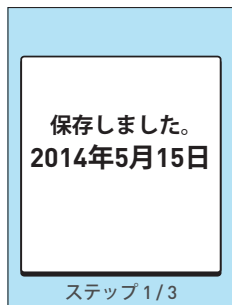
- この測定時間アラームの日付が正しい場合は、 を押して保存し、ステップ2に移ります。
- この測定時間アラームの日付が正しくない場合は、 または  を押して『変更』を選択し、 を押します。



 または  を押して西暦年を変更し、 を押して確定します。この手順を繰り返して月と日を変更します。







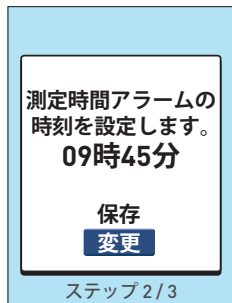
『保存しました。』という画面が表示され、『測定時間アラーム1』の日付が測定器に保存されたことをお知らせします。




ステップ2:測定時間アラームの時刻の変更

表示されている測定時間アラームの時刻を確認します。

- この測定時間アラームの時刻が正しい場合は、 を押して保存し、ステップ3に移ります。
- この測定時間アラームの時刻が正しくない場合は、 または  を押して『変更』を選択し、 を押して選択を確定します。

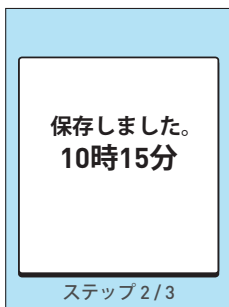


7 測定器の設定変更

時刻を変更するには、
▲ または ▼ を押して
時間を変更し、 を
押して確定します。
同様にして分を変更します。







『保存しました。』という
画面が表示され、
『測定時間アラーム1』の
時刻が測定器に保存された
ことのお知らせします。



ステップ3: 繰り返しの設定 (測定時間アラームの繰り返し頻度)

表示されている測定時間アラームの繰り返し頻度を確認します。

- 現在の繰り返し頻度のままでよい場合は、を押して保存します。
- 繰り返し頻度を変更する場合は、またはを押していずれかを選択し、次にを押して選択を確定します。

繰り返しの設定	
<input checked="" type="radio"/>	毎日
<input type="radio"/>	毎週
<input type="radio"/>	1回限り
ステップ 3 / 3	

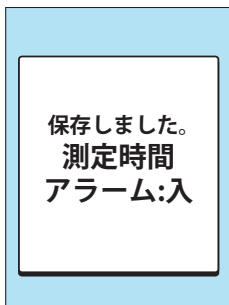
注:『1回限り』(繰り返しなし)を選択した場合、設定した時刻に『測定時間アラーム1』が表示された後、この測定時間アラームは『測定時間アラーム』画面上で自動的に『切』になります。

『保存しました。』という画面が表示され、『測定時間アラーム1』の繰り返し設定が測定器に保存されたことをお知らせします。

<p>保存しました。 繰り返しを 毎日に 設定しました。</p>
ステップ 3 / 3

7 測定器の設定変更

再度『保存しました。』という画面が表示され、『測定時間アラーム1』が『入』に切り替わったことをお知らせします。



注:測定時間アラームの繰り返しを設定すると、『測定時間アラーム』画面に戻ります。この画面では、『測定時間アラーム1』の日付、時刻、繰り返しが正しく選択されているか確認することができます。




別の測定時間アラームを設定するには、『測定時間アラーム』画面から、別の測定時間アラームを選択し、ステップ1、2、3を繰り返します。

測定時間アラーム
測定時間アラーム1 毎日 10時15分
測定時間アラーム2 切
測定時間アラーム3 切

測定時間のお知らせ

測定時間アラームは、測定器の電源の『入』『切』にかかわらず、設定した日時に、測定する時間であることを音と画面でお知らせします。

測定時間アラームを見ます。

- もしすぐに測定をしたい場合は、 を押して測定時間アラームを確認し、血糖測定を行います。
- すぐに測定をしたくない場合は、 を押して『閉じる』を選択して  を押します。



『OK』を選択した場合は、『センサーを挿入』という画面が表示され、センサーを挿入して血糖測定するよう促します。



7 測定器の設定変更

注:




- 日付、時刻、目標範囲の変更中、またはエラー・注意メッセージが表示されているときは、測定時間アラームは表示されません。変更が終了した後、またはエラー・注意メッセージを閉じた後、『測定時間アラーム』画面が表示されます。
- 血糖測定中には測定時間アラームは表示されません。
- 測定器の電源が入っていないときに測定時間アラームが表示され、『閉じる』を選択した場合、測定器の電源は再び切れます。
- 測定時間アラームは1回しか表示されません。『閉じる』を選択すると、その後同じ測定時間アラームが再度表示されることはありません。
- 音の設定を『切』にすると、測定器のすべての音は鳴りません。

音の設定の変更

センサーを挿入するとき、血液をつけるとき、測定結果が表示されるときなど一部の操作中に「ピッ」という音が鳴るようにすることができます。




測定結果が目標範囲より低いときや、測定結果が20 mg/dL未満のとき、測定時間アラームが表示されるときには「ピッ」という音が何回も鳴ります。

測定時間アラームについては107ページおよび113ページを参照してください。

『設定』画面から  または  を押して『音』を選択し、 を押して選択を確定します。

設定
日付・時刻
言語
機能設定
音
Bluetooth
測定器情報

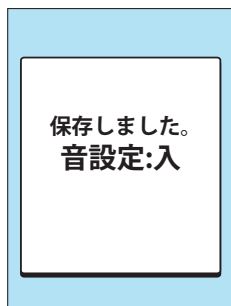
7 測定器の設定変更

『音』画面で  または  を押して『入』または『切』を選択し、 を押します。





音を『入』にすると、「ピッ」という選択確認音が1回鳴ります。



『保存しました。』という画面が表示され、画面に表示されている音設定が測定器に保存されたことをお知らせします。



注:『音』の設定を『切』にすると、測定器のすべての音は鳴りませんのでご注意ください。




注:測定器の使用中に、 と  ボタンを同時に押すと、現在の設定から『音』が『入』または『切』に切り替わります。『設定』画面で変更するか、再度  と  ボタンを同時に押すまで、新しい設定が有効になります。

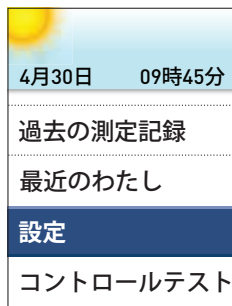


例
『音設定:入』


測定器のシリアル番号およびソフトウェアバージョンの確認

測定器のシリアル番号およびソフトウェアバージョンは測定器に保存されています。この情報はいつでも確認することができます。

1. メインメニューから  または  を押して『設定』を選択し、 を押します。



7 測定器の設定変更

2. 『測定器情報』を選択し、を押します。
測定器情報が表示されます。

設定
日付・時刻
言語
機能設定
音
Bluetooth
測定器情報

測定器情報
シリアル番号: BCXFF2HK
ソフトウェアバージョン: XXXX
測定単位: mg/dL

測定器情報
前回のエラー: エラーX
エラー日付: 2022年8月30日
サブエラー: XXXX

3.  を押して『設定』画面に戻ります。

△警告

測定単位がmg/dLと表示されていることを確認してください。測定単位がmg/dLではなくmmol/Lで表示されている場合は使用を中止し、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付) までご連絡ください。

測定器の保管

使用後は必ず、測定器一式をキャリングケースに収納して保管してください。直射日光・高温多湿を避け、30℃以下の場所に保管してください。冷蔵庫・冷凍庫に保管しないでください。温度がこれより高い場所、または相対湿度が10～90%の範囲を外れる場所で保管したセンサーは使用しないでください。

汚染や劣化を防ぐため、センサーおよびコントロール溶液の使用後は、ただちに容器のキャップをしっかりと締めてください。センサーは必ず開封時に入っていた容器に入れたまま保管してください。

特定保守管理医療機器

血糖自己測定器（自己検査用グルコース測定器）は特定保守管理医療機器です。特定保守管理医療機器とは、適正な管理が行われなければ重大な影響がでる恐れがあるものと法に定められています。

医療機関には、特定保守管理医療機器の保守点検に関する計画の策定やその実施が義務付けられています。ご使用にあたっては、医療機関の指導に基づき、日常点検など適正な使用をお願いします。

測定器のお手入れ

1. 測定器の表面は、水と中性洗剤をしみこませた柔らかい布で拭いてください。

アルコールなどの有機溶媒は使用しないでください。

センサー挿入口やデータポートから、測定器内にごみ、ほこり、血液、コントロール溶液、水などが入らないように注意してください。測定器に洗浄液を吹きかけたり、測定器を液体に浸さないでください。

測定器の分解、修理、改造は行わないでください。

8 測定器の保管とお手入れ

電池の交換

ワンタッチベリオビュー®測定器は単4アルカリ乾電池を2本使用します。

重要:測定器には単4アルカリ乾電池のみをご使用ください。充電式電池は使用しないでください。電池の種類が違ったり、電池を片方しか交換しないと、測定できる回数が通常よりも少なくなるおそれがあります。

電池の交換時期については122～123ページを参照してください。

電池残量が完全になくなると、測定器の電源が入りません。この場合は、測定器を使用するために新しい電池に交換する必要があります。

△警告

•液漏れしている電池は測定器を損傷する可能性があるほか、通常よりも電池の消耗を早める原因ともなります。液漏れしている電池はただちに交換してください。

•リチウム電池は使用しないでください。『電池残量が少なくなりました。』または『電池残量がなくなりました。』の注意メッセージが表示されずに、突然電池が切れることがあります。

8 測定器の保管とお手入れ

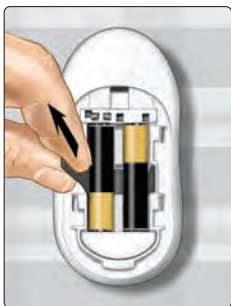
1. 使用済み電池を取り外します

測定器の電源を切ります。
電池ボックスのカバーを
下にスライドさせて取り外
します。



電池ボックスの黒いリボンを
引っ張りあげ、両方の電池
を電池ボックスから取り出
します。

測定器がパソコンに接続さ
れているときは、電池を交換
しないでください。



2. 新しい電池を装填します

新しい単4アルカリ乾電池2本を電池ボックスの黒いリボンの上から入れます。プラス(+)とマイナス(-)の記号を目印にして電池を入れてください。



測定器の電池を交換した後でも、測定器の電源が入らない場合、電池が正しく装填されているか確認してください。新しい電池を正しく装填しているにもかかわらず測定器の電源が入らない場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

3. 測定器の設定を確認します

測定器の電池を交換しても記録された過去の測定記録には影響ありませんが、念のため測定器の設定を確認してください(88 ページを参照してください)。

4. 電池を廃棄します

お住まいの地区の条例等に当たって、使用した電池を処分してください。

エラーおよびその他のメッセージ

センサーや測定器に問題がある場合、または測定結果が600 mg/dLを超えるか20 mg/dL未満であった場合、測定器にメッセージが表示されます。不適切な使い方をした場合には、メッセージが表示されずに正確でない測定結果が出る可能性があります。

注:測定器の電源が入っているにもかかわらず操作できない場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

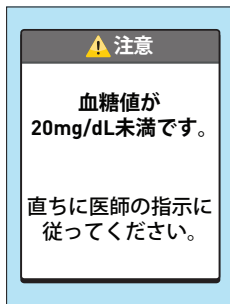
画面に表示されるメッセージにしたがっても同じメッセージが再び表示される場合は、本書に記載されている対処法を実施するか、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

意味

血糖値が20 mg/dL未満になっているおそれがあります。

対処法

ただちに医師の指示にしたがってください。

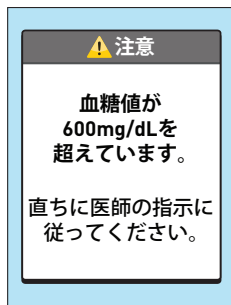


意味

血糖値が600 mg/dLより高くなっているおそれがあります。

対処法

ただちに医師の指示にしたがってください。



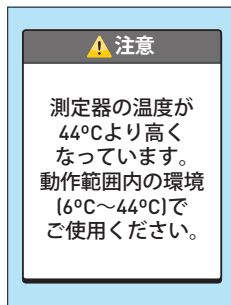
意味

測定器の温度が動作温度範囲外(44℃を超える)にあるので、正常に動作しません。

対処法

動作温度範囲内(6~44℃)の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待ってから、新しいセンサーを挿入してください。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。

同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までお問い合わせください。



9 測定器のトラブルシューティング

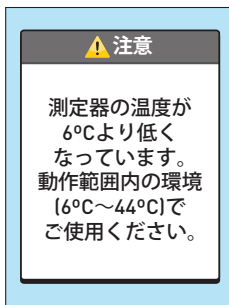
意味

測定器の温度が動作温度範囲外(6°C未満)にあるので、正常に動作しません。

対処法

動作温度範囲内(6~44°C)の場所に測定器とセンサーを置いて、数分間待ってから、新しいセンサーを挿入してください。このメッセージが再び表示されなければ、測定できます。

同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)までお問い合わせください。

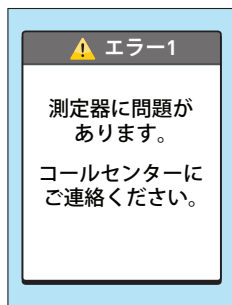


意味

測定器に問題がある可能性があります。

対処法

この測定器は使用せず、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

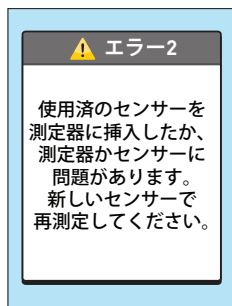


意味

使用済みのセンサーを挿入した、または測定器かセンサーに何か問題があると考えられます。

対処法

新しいセンサーを使って再測定してください。27ページもしくは41ページを参照してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合はワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。



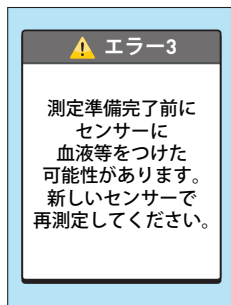
9 測定器のトラブルシューティング

意味

測定準備が完了する前に、血液またはコントロール溶液をセンサーに点着した可能性があります。

対処法

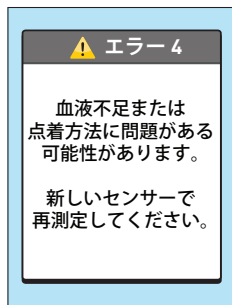
新しいセンサーを使って再測定してください。画面に『**血液をつけてください**』と表示された後に、血液を点着してください。画面に『**コントロール溶液をつけてください**』と表示された後に、コントロール溶液を点着してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。



意味

次のいずれかの問題が生じた可能性があります。

- 血液またはコントロール溶液が不十分か、測定器のカウントダウンが始まってからさらに追加した可能性があります。
- センサーに問題がある、または測定中にセンサーを動かした可能性があります。
- 血液またはコントロール溶液のつけ方（点着方法）が正しくなかった可能性があります。
- 測定器に問題がある可能性があります。



対処法

新しいセンサーで再測定してください。血液を使用した測定方法は27ページを、コントロールテストの実施方法は41ページを参照してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。

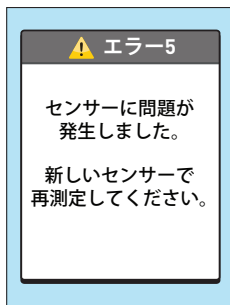
9 測定器のトラブルシューティング

意味

測定器かセンサーに問題があることを検出しました。センサーが損傷していることが考えられます。

対処法

新しいセンサーを使って再測定してください。27ページもしくは41ページを参照してください。同じエラーメッセージが再び表示される場合は、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。



△注意

測定範囲を上回る測定結果の場合、『**血糖値が600 mg/dLを超えています。**』というメッセージが表示されますが、おおよそ1500 mg/dLを上回った場合には、『**エラー5**』のメッセージが表示される可能性があります。このメッセージが表示された場合には、測定器もしくはセンサーの問題によるエラーであるか、高値のためのエラーであるか判別できませんので注意してください。おおよそ1500 mg/dL を超える高い血糖値が疑われ、『**エラー5**』が表示された時は、ただちに医師の指示にしたがってください。なお、『**エラー5**』が表示された場合は、この測定結果は測定器に保存されません。

9 測定器のトラブルシューティング

意味

測定はできますが、電池残量が少なくなっています。

対処法


いったん電池残量低下マークが表示されると、電池を交換するまでこのマークを点滅表示し続けます。正確な測定結果を得ることができませんが、できるだけ早く電池を交換してください(110ページを参照してください)。



意味

測定はできますが、電池残量が少なくなっています。

対処法

測定を続けるには  を押します。その場合も、できるだけ早く新しい電池に交換してください。110ページを参照してください。

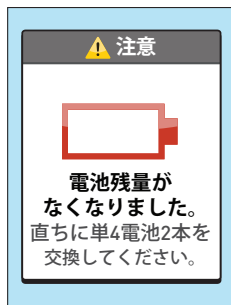


意味

測定を行うための電池が残っていません。

対処法

すぐに新しい電池に交換してください。110ページを参照してください。



意味

初めて測定器を使用する場合、またはコンピュータにデータをダウンロードした後、測定結果が削除された場合など、メモリーに保存されている測定結果がありません。

対処法

この測定器の使用が初めてではないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合、ワンタッチコールセンター 0120-113-903 (24時間365日受付)にお問い合わせください。血糖測定は行うことができ、正しい測定結果を得ることができます。

過去の測定記録

測定結果がありません。

測定器の測定結果と検査室の測定結果の比較

ワンタッチベリオビュー®自己検査用グルコース測定器(測定器)に表示される測定結果と検査室での測定結果はいずれも血漿グルコース濃度に換算した値で表されます。ただし、測定器の測定結果と検査室の測定結果は、様々な要因により差が生じることもあります。測定器の測定結果は、検査室の測定結果の±20%以内に入っていれば、正確であると考えられます。

検査室の測定結果に影響しない測定要因であっても、測定器の測定結果に影響をおよぼすことがあり、それが±20%以上の差を生じることがあります。測定器に表示される結果と検査室の測定結果の間に±20%以上の差を生じる可能性がある測定要因としては以下のものが含まれます。

- 食直後に指先で測定した測定結果は、静脈血を使った検査室の測定結果と比較して、最大で70 mg/dL高くなる可能性があります。¹
- ヘマトクリット値(血液に占める赤血球の容積を示すパーセンテージ)が60%を超える場合、または20%未満である場合。
- 重度の脱水症状を起こしている場合。

ワンタッチベリオ®センサーの電子添文も合わせて参照してください。

¹Sacks, D.B.: "Carbohydrates." Burtis, C.A., and Ashwood E.R. (ed.), *Tietz Textbook of Clinical Chemistry*, Philadelphia: W.B. Saunders Company (1994), 959.

測定器の測定結果と検査室の測定結果を正しく比較するためのご注意：

検査室の測定結果との比較のための測定を行う前に：

- コントロールテストを行い、測定器が正しく機能することを確認してください。
- 測定器と検査室の比較を行うための測定前は8時間以上食事をとらないでください。
- 測定器と関連品を医療機関へご持参ください。

検査室の測定結果との比較を行うために、ワンタッチベリオビュー®測定器で測定する際には：

- 検査室での検査から15分以内に測定器で測定してください。
- 必ず指先から採取した新鮮な毛細管血を使用してください。
- 測定器で血糖測定を行うときには、本書の記載事項にしたがってください。


10 測定器の精度を確認する

本測定器の測定結果と他の測定器の測定結果の比較

本測定器での測定値を他の測定器での測定値と比較することは推奨していません。測定値は測定器によって異なるため、測定器が正常に動作しているかどうかを確認するのに有効な方法ではありません。

白紙ページ

仕様

測定方法	FAD-GDH(フラビンアデニンジヌクレオチド - グルコースデヒドロゲナーゼ)
自動切電機能	前の操作から2分後
電池定格	電圧: 2 x 1.5V (単4アルカリ乾電池2本)、  直流、80mA
電池の種類	単4アルカリ乾電池2本
測定値	血漿グルコース濃度に換算した値で表示
メモリー機能	測定結果またはコントロールテスト結果を最大600件まで記録
動作範囲	温度: 6~44°C 相対湿度: 10~90% 高度: 3,048メートル以下 ヘマトクリット値: 20~60%
測定の範囲	20~600 mg/dL

検体	新鮮な毛細管全血
検体量	0.4 μ L 以上
寸法	109×55.5×25 mm
測定時間	約5秒間
血糖値の測定単位	mg/dL
重量	約105 g (電池を含む)
BLUETOOTH® 技術	周波数範囲:2.4~2.4835 GHz 最大出力:0.44 mW 動作保証範囲:8m (障害物がないこと) 稼動チャンネル:40 チャンネル セキュリティ暗号化:128 ビット AES (高度暗号化規格)

保証

ご購入日から3年以内に故障が生じた場合、無償でお取替えいたします。保証は購入者のみを対象とし、譲渡できません。

電気および安全規格

本測定器はCISPR 11:クラスB(放射)の要求事項を満たしています。本製品の放射エネルギーは低レベルであり、周囲の電子機器の干渉発生原因となる可能性はほとんどありません。本製品はIEC 61326-2-6に規定された静電気放電に対するイミュニティ(耐性)について試験済みです。本製品はIEC 61326-2-6に規定される周波数範囲で、無線周波数干渉に対するイミュニティ(耐性)の要求事項を満たしています。

本製品は国際規格ISO 15197に規定されている周波数範囲および試験レベルでの電気干渉に対するイミュニティの要求事項を満たしています。

本製品を電磁放射線を発する電気装置または電子装置の近くで使用した場合、測定器の動作に干渉することがあります。電磁放射線の発生源のすぐそばでの測定は避けてください。

一般的な電磁放射線の発生源としては、携帯電話、トランシーバー、ガレージドアオープナーがあげられます。

エアゾールスプレーを使用している場所で、または酸素吸入を行っているときに本製品を使用しないでください。

USBケーブルで本製品がパソコンに接続されているときは、センサーを挿入しないでください。

保証書

ご購入後、万一ワンタッチベリオビュー®(測定器)に故障が生じた場合、3年間に限り無償で製品の交換をさせていただきます。ただし、次のような場合は保証期間内であっても有償となります。

1. 使用上の誤り、不当な修理により生じた故障、破損。
2. 火災、地震などの天災・地変による故障、損傷。
3. ご購入後の移動、輸送などによる故障、損傷。
4. 電池の損傷または故障。
5. その他当社の責によらない故障、損傷

製品名	ワンタッチベリオビュー®
シリアル番号	
保証期間	ご購入日またはご入手日 年 月 日 より3年間
ご氏名	
ご住所	
販売店名または は入手先	病院名/店名 電話 ()

*この保証は、日本国内においてのみ有効です。

製造販売元：

LifeScan Japan株式会社
東京都中央区日本橋室町三丁目4-4
OVOL日本橋ビル2F

ワンタッチコールセンター
0120-113-903 (24時間365日受付)

12 索引

英数字・記号

Bluetooth.....	6, 8, 66, 71
mg/dL.....	16, 129
『7日間のふりかえり』.....	54, 63
『30日間のふりかえり』.....	54, 63

あ

エラーメッセージ.....	114
音.....	103
温度.....	20, 48, 108, 115, 116, 128

か

画面表示の確認.....	19
記号.....	3, 4, 60
血漿測定値.....	124, 128
血糖測定の手順.....	20
血糖値が20 mg/dL未満.....	114
血糖値が600 mg/dLより高い.....	115
言語の変更.....	83
高血糖.....	115
コントロールテストの実施.....	39, 46, 48
コントロール溶液の処分と処分日.....	39, 40

さ

『最近のわたし』	60
仕様	128
使用済みセンサーの廃棄	35
使用目的	5
「食事マークあり」目標範囲	88
食事マークをつける	50, 85
時刻の変更メッセージ	82
シリアル番号	105
スタート画面	18
設定	76
センサー	17, 41
センサー, 銀色のコンタクトバー	17, 25, 41
「全般」目標範囲	88
測定器のお手入れ	109
測定器の測定結果と 検査室の測定結果の比較	124
測定器の電源を入れる	18, 25, 41, 58
測定器の電源を切る	19, 34
測定器の保管	108
測定器のボタン	16, 17
測定結果, 過去の記録をふりかえる	58, 59, 60
測定原理	5
測定時間アラーム	95, 101
測定単位	16, 129

12 索引

た

脱水	24, 36, 124
データポート	16
電池	110
『電池残量が少なくなりました。』マーク	3
電池残量がなくなりました	123
『電池残量がなくなりました。』マーク	3
電池の交換	110
動作範囲値外のヘマトクリット値	39, 124, 128

は

箱に含まれるもの	14
バックライト	19
日付の設定	76, 79, 81
表示画面モード	54, 84
平均値	61
保証	130, 132, 133
保証書	132, 133

ま

マーク	3, 4
メインメニュー画面	58, 76, 105
目標範囲の設定	78, 88, 89, 90

や

予期せぬ測定結果	36, 38
----------	--------

本製品に関するお問い合わせは：
ワンタッチコールセンター 0120-113-903(24時間365
日受付)までご連絡ください。

製造販売元：
LifeScan Japan株式会社
東京都中央区日本橋室町三丁目4-4
OVOL日本橋ビル2F

販売名：ワンタッチベリオビュー（認証番号：
22600BZX00312000）

販売名：ワンタッチベリオセンサー（承認番号：
22400AMX01423000）

取扱説明書の内容は予告なく改定される可能性
があります。

AW 06852405A
© 2018-2023 LifeScan
IP Holdings, LLC
Rev. Date: 03/2023

製造元
LIFESCAN SCOTLAND LTD
Beechwood Park North,
Inverness IV2 3ED



AW 06852405A